

令和元年度部の経営方針
取組実績報告書

令和2年4月
財務部行政経営課

部の経営方針 取組実績報告書の見方

- ① 使命・・・組織としてどのような役割を果たすことが求められているかを示しています。
- ② 目標項目・・・令和元年度当初に設定した各部の重要課題を解決するために、「何を行うのか」という目標項目です。
- ③ 達成方法・・・②目標項目を「どのように行うのか」という具体的な方法や手段です。
- ④ 目標達成基準・・・②目標項目を「どの程度まで行うのか」という具体的な達成基準です。数値化が難しいものは行動レベルを文言で示しています。
- ⑤ 目標達成状況及び実施内容・・・③達成方法、④目標達成基準に対し、令和元年度に取り組んだ内容を示しています。
- ⑥ 評価・・・③達成方法や④目標達成基準に対して取り組んだ⑤目標達成状況及び実施内容を以下の表に沿って区分しています。

1 目標達成基準が数値目標の場合

評価	目標達成実績
計画以上	105%超
計画どおり	95%～105%
計画未滿	95%未滿
評価不能	外部要因等により、当初の計画を実施できなかった場合

2 目標達成基準を数値化していない目標の場合

評価	目標達成実績
計画以上	達成方法や目標達成基準を期限よりも 10%以上早く期待を上回る内容で目標が達成でき、かつ職務上の実質的な効果（業績）があったことが確認できた場合
計画どおり	達成方法や達成基準を期限内で期待どおりの内容で目標が達成でき、かつ、職務上の実質的な効果（業績）があったことが確認できた場合
計画未滿	達成方法や達成基準を期限内であっても期待を下回る内容であった場合、又は期限よりも 10%以上遅れた場合
評価不能	外部要因等により、達成方法や達成基準など当初の計画が実施できなかった場合

- ⑦ 計画以上、計画未滿、評価不能の理由・・・⑥評価が「計画どおり」以外であった場合は、その理由を示しています。
- ⑧ 新型コロナウイルスの影響により目標達成基準に達しなかった事項については、評価の対象から外してします。

総合政策部の経営方針

■ 使命

- コンベンション施設の整備及び民間ホテル誘致に向けた募集要項等を策定します。
- 本市のあるべき将来像及びその実現のための政策指針を整理します。
- 市幹部の適正なトップマネジメントを支援します。
- 儀式の開催、顕彰・表彰による市政への参加を啓発し、文化スポーツなどの奨励、親善都市・ゆかりのまちとの交流及び市民交流の推進を図ります。
- 積極的な情報発信により、市民との情報の共有を進め、公平性・公正性・透明性の高い市政運営を実現します。
- 阿知和周辺地域や東部地域におけるまちづくりの事業手法の検討を進めます。
- 高速道路会社と連携し、高速道路の情報発信を行い、高速道路の利便性の向上を図ります。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
コンベンション施設整備事業の推進	①特定事業の選定 ②募集要項公表 ③事業者選定事務の実施	コンベンション施設整備事業者となりうる優先交渉権者の決定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
総合政策指針の策定	①過年度各意見の反映 ②総合計画審議会の運営 ③特別委員会の意見反映 ④パブリックコメント ⑤議案作成 ⑥市民への周知	12月定例会への議案提出	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
スマートコミュニティの推進	①サウンディング型市場調査の実施 ②事業パートナー募集に関する資料の公表 ③事業パートナーの選定 ④地域電力小売会社の設立	地域電力小売会社の設立	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
適正な市長・副市長のトップマネジメント支援	①日々のスケジュール管理及び実施について、連絡・報告・情報交換の徹底 ②必要な情報収集及び資料作成	市長・副市長が、各種行事や会議において、本市の代表としての儀礼的役割を果たし、また、市政の進展につながる交渉を円滑に実施し、各施策を実現	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
親善都市・ゆかりのまちとの各種交流事業の実施	①親善都市・ゆかりのまちとのイベント行事に、相互に参加し交流 ②各種事業を関係部署と協議・調整 ③石垣市との提携50周年記念事業の実施	親善都市・ゆかりのまちの歴史、文化、産業などを学び交流することにより、自分たちの郷土を改めて見つめなおす機会を設定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	

市政だよりの月1回発行への移行（10月1日号以降）と正確な配布	①紙面構成の検討 ②各号の編集における関係部署との調整と効率的な編集体制の確立 ③総代への周知と正確な配布作業の実施	月1回発行への移行（10月1日号）を完了し、配布も含め、安定期な運用体制を確立	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
おかざき応援寄附金制度の制度整理及び運用	①委託先の再検討、返礼品の発掘方法などを整理 ②本市の特産品を活用した返礼品や体験型返礼品等の定期的な更新	・委託先の再検討を終了しおかざき応援寄附金要項並びにパートナー事業者募集要項の修正を完了 ・人気のある新規返礼品を開拓	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
阿知和地区工業団地の整備	①民間活力導入支援業務の発注 ②PFIの可能性調査 ③PPP/PFIその他の事業手法の検討	事業手法の決定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
スマートICや周辺道路の整備	①業務発注 ②関係機関や工業団地との協議・調整 ③地区協議会等の開催	スマートICや周辺道路の詳細設計の完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
まちバスの見直し	①コンセプト・運行経路等の検討 ②バス事業者等と協議・調整 ③交通政策会議での検討・承認	一般路線としての運行案の作成完了	達成方法どおりに事務を進め、令和2年4月から、一般路線として運行開始することができる。	計画以上	バス事業者との協議・調整等が早期に完了したため、一般路線として運行開始することができた。

財務部の経営方針

■ 使命

- 各事業の担当部局が計画性を持って十分な検討の下、各種行政サービスの円滑な実施による市民の満足度のさらなる向上を図るとともに、規律ある財政運営を確保し、また、総合計画で位置づけた政策・施策を実現するために、予算編成方針に基づき事業の選択と財源の有効活用を図ります。
- 行政経営の仕組みを効率的で透明性の高いものにより、市政に対する市民の理解を深めます。
- 公共施設等の最適な配置を実現することにより、現世代への安全な公共施設サービスの提供と将来世代への過大な負担の解消を図り、持続可能な公共施設サービスの提供を行います。
- 適正かつ公平な賦課と徴収に努めるとともに、専門的知識を持った職員を育成し、市民への説明責任を果たします。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
当初予算・補正予算の編成	①当初予算編成方針の作成 ②当初予算編成事務説明会の開催 ③予算査定 ④予算議案、予算説明書の調製 ⑤当初予算発表資料の作成	・当初予算・補正予算の議案の作成 ・当初予算・補正予算の説明書の作成 ・当初予算発表資料の作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
行政評価制度再構築の検討	①現制度の課題整理、職員アンケート結果の分析 ②他自治体の事例整理、事務事業評価のあり方検討、全体的な方向性の検討 ③予算編成、人員管理、組織目標、リスク管理等との効果的な連動の検討 ④再構築案のまとめ、評価に用いる様式の整理	行政評価制度再構築案の策定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
税総合システムの円滑な更新	①システム連携を含む全体構成の把握と整理 ②関係各課との協議、調整 ③共同開発者（豊橋市）との情報交換、調整 ④システムベンダーとの協議 ⑤将来的なライフサイクルコストの試算	税総合システムの更新完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
令和3年度評価替えの準備（土地） (1)用途地区、状況類似地区、標準宅地の決定 (2)路線価格の検証	(1)①令和3年度評価替えの点検 ②用途地区の決定 ③状況類似地区の決定 ④標準宅地の選定 ⑤標準宅地の鑑定 (2)①路線価要因データの整備（幅員等のデータ確認・調査） ②路線カテゴリーの分析・検討・調査 ③路線の矢切の分析・検討	令和3年度評価替えに向けて、用途地区、状況類似地区、標準宅地の決定及び全路線価格の仮設定の完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

<p>新規発生する滞納者への早期対応</p>	<p>①督促状（年9回）・納付書付催告書（年12回）の発送と、納税緩和措置（猶予・減免等）の周知の実施 ②滞納額や所得状況により滞納者を分析し、状況に即した文書催告（年4回）を発送 ③現年度滞納者の所得状況等を早期に把握し、財産（給与・預金等）を調査 ④財産の有無により差押執行、執行停止処分を実施 ⑤市外転出者への調査を早期に実施し、滞納処分により滞納の長期化を防止 ⑥催告対象者の分析を行うことで、催告書の発送・電話催告等の業務の効率化</p>	<p>各四半期末時点ごとの収納率で前年度月比を上回る</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。</p>	<p>計画どおり</p>	
------------------------	---	--------------------------------	--	--------------	--

総務部の経営方針

■ 使命

○明解な文書管理、情報公開制度など行政運営の仕組みを効率的で透明性の高いものにより説明責任を果たし、法令遵守はもとより例規を整備し、市政に対する市民の皆様の理解をより深めます。

○選挙制度の適正な執行に努め、より投票しやすい環境の向上を図ります。

○庁舎は多くの市民及び職員等が利用する施設です。日常の利用環境に加え、災害にも強い安全安心な施設整備を図り、使いやすい施設環境の整備を図ります。

○質の高い行政サービスを効果的に提供するために必要な人材の確保及び人材育成に努め、適材適所の配置により、職員及び組織を効率的かつ効果的に機能させます。

○職員の給与をはじめとする勤務条件等の適正な運用に努め、職員が安心して市民サービスの向上に寄与できる働きがいのある職場環境を作ります。

○公共調達の適正な執行を推進し、時勢にあった実効性のある入札及び契約制度を導入することで、地域における雇用の拡大、労働環境の向上を図り、ひいては地域の活性化に努めます。

○情報システムを利活用し、市民サービスの向上、事務の効率化を進めます。また、法制度改正や技術進歩への対応を行い、セキュリティ（機密性・完全性・可用性）の維持、向上を目指し、情報技術の恩恵がより多くの部署で享受できるよう情報施策の展開を図ります。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
内部統制制度の導入に向けた検討	①照会、視察等による先進自治体の調査 ②派遣研修等による担当職員の育成 ③コンプライアンス意識啓発のための職員研修の実施 ④庁内検討組織の立上げ	先行自治体（県、政令市）や先進中核市等の取り組み状況を把握し、導入スケジュールや制度構築の案を検討	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
福祉総合相談体制の機能的配置に対応する執務スペース等の整備	①福祉・こども部をはじめ関係各課との調整 ②工事内容の整理 ③委託業者との調整 ④年次及び全体計画の確認	福祉会館改修実施設計の完成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
岡崎市の会計年度任用職員制度の構築	①懸案事項の確認 ②懸案事項への対応 ③給与水準の調査・設定 ④関係課、職員組合との調整 ⑤関係例規の制定・改定 ⑥新制度の周知	会計年度任用職員制度を構築し、条例案を9月定例会に上程し、制度の周知	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
公契約条例の制定及び関連要綱等の作成	①第4回検討会議開催 ②議会報告及び報道発表 ③パブリックコメントの実施 ④第5回検討会議開催 ⑤条例案の12月議会への提出 ⑥関係要綱等の整備と周知	検討会議（2回）及びパブリックコメントを反映した条例案の完成と議会での可決並びに要綱などの完成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
RPA の導入及び運用ルールの策定	①RPA ソフトウェアの調達 ②業務フローの整理 ③自動化プログラムの作成 ④運用ルールの策定	RPA の運用開始	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

市民生活部の経営方針

■ 使命

○支所・本庁（自治振興課）が地域の意見を集約し、総合的な視点で地域への情報提供、情報収集及び現状把握を行い、地域コミュニティの活性化に繋がるよう、地域と市関係部署との調整と支援を図ります。
 ○住民基本台帳法等関係法令に対応し、住民情報の適切な管理及び迅速かつ正確な証明書の交付を行うとともに、市民の利便性向上に資する個人番号カードの交付を推進します。
 ○交通安全施設の設置や交通安全啓発活動の実施により交通事故の防止を図るとともに、地域防犯カメラや防犯灯の積極的な設置、自主防犯活動団体等との連携により、犯罪が発生しにくい環境づくりを推進し、安全・安心な社会の実現を図ります。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
地域コミュニティ（町内会）が今後も持続し活性化する組織となるための支援の検討	①各支所業務における地域支援の状況と課題の分析 ②地域支援のあり方検討会議の（仮称）地域コミュニティ（町内会）部会において、地域（町内会）支援施策について検討 ③第3期市民協働推進計画案に向けた地域（町内会）支援施策案を検討 ④岡崎市総代会連絡協議会と連携し、ホームページにて岡崎市総代会連絡協議会の活動内容を紹介すると共に、町内会組織が抱える課題を検証	岡崎市総代会連絡協議会等と協議し、今後の地域（町内会）支援の方向性を整理	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
防犯カメラの設置推進（簡易設置型防犯カメラの効果的運用を図るための制度の確立）	①運用規程の素案作成 ②警察署と連携した運用体制の確立 ③規程の策定 ④総代会、自主防犯活動団体連絡協議会への周知 ⑤犯罪状況等に応じた防犯カメラの設置活用	策定した規程を運用し防犯カメラを設置活用	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
青色パトロールカー（青パト）へのドライブレコーダーの装備推進	①設置台数の検討 ②ドライブレコーダーの購入 ③地域と調整し設置する青パトを選定 ④青パトにドライブレコーダーを装備	各防犯団体青パトにドライブレコーダー装備	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
第5次岡崎市防犯活動行動計画の策定	①アンケート、情報分析 ②情報収集、整理 ③関係各課との調整 ④犯罪情勢を踏まえた素案作成 ⑤パブリックコメント ⑥計画の策定	第5次岡崎市防犯活動行動計画の策定完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

<p>個人番号カード取得を推進するための申請・交付体制の構築（令和元年9月11日付け国のカード交付円滑化計画策定の通知に伴い修正、右記項目も同様に修正）</p>	<p>①個人番号カードの申請補助サービスの広報、周知及び実施 ②市職員及び被扶養者の個人番号カード取得勧奨に係る周知及び交付実施 ③カード申請・交付に係る臨時窓口開設の予算措置、広報及び業務開始 ④職員出張による申請補助サービスの新たな募集による実施</p>	<p>今年度末の個人番号カード申請割合 18.0%（申請累計枚数 70,000 枚）の達成</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 個人番号カード申請割合 18.5%（申請累計枚数 71,875 枚）</p>	<p>計画どおり</p>	
<p>岡崎市と綾川町との交流提携締結及び民間交流を推進する組織「斎田ゆかりの地交流会」の活動支援</p>	<p>①交流提携準備作業（関係機関、団体等との調整、広報） ②交流提携締結（6/2） ③斎田ゆかりの地交流会設立及び活動支援 ④悠紀斎田保存会事業との連携支援 ⑤岡崎市及び綾川町の関係部署との調整 ⑥地元団体との今年度交流事業内容の検証</p>	<p>綾川町との交流提携締結及び斎田ゆかりの地交流会（地元民間団体）の次年度事業計画案の確認</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。</p>	<p>計画どおり</p>	
<p>地域活動団体と企業との連携を支援して協働事業の試行実施</p>	<p>①地元の年間行事日程を企業へ提示 ②地域住民による課題解決への検討会の支援 ③地元と企業との連携を調整 ④協働事業の結果の検証・課題の分析 ⑤協働事例の公表・情報発信 ⑥社会的貢献を希望する企業の把握及び活動支援を希望する地域団体の調査</p>	<p>地域活動団体と企業との協働事業の試行実施及び課題の整理</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。</p>	<p>計画どおり</p>	

市民生活部(防災担当)の経営方針

■ 使命

- 過去の大規模災害の教訓を踏まえ、災害発生後早期復旧と安定した被災市民の生活を確保するため、受援に係る体制を整備します。
- 洪水時の逃げ遅れによる被災を最小限に留めるため、市民へのハザードマップ等による危険度の周知を徹底します。
- 市内 22 小学校区で実施する地域主導の地域総合防災訓練を災害特性に応じた内容で実施します。
- 地区防災計画の策定支援や防災出前講座などを通じた地域防災力の強化と自助・共助による防災力の強化を図るため、防災指導員の活動の活性化を図ります。
- 大規模災害発生後、経済活動が停滞しないよう企業の業務継続計画の策定を推進します。
- 自治体や産学との災害時相互支援を図るため、西三河防災減災連携研究会を通じ、一層の広域連携強化を図ります。
- 災害対策本部室等参集職員の教育・研修を実施し、防災意識を高めるとともに、実践的な訓練を実施することで職員の災害対応のスキル向上を図ります。
- 通信設備、応急資機材及び気象観測システム等、災害時応急を円滑・迅速に行うための施設、仕組み及び機器の検討、整備を進めます。
- 全市域への音声による避難情報等の伝達手段としてデジタル同報無線の導入を推進します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
南海トラフ地震における受援計画の策定（人的支援を核とした全体計画）	①国や関係団体などのプッシュ支援における業種や種類を調査 ②庁内関係部署との検討 ③受入体制や配備先などの検討 ④連絡・指示系統などの検討	受援計画（人的支援を核とした全体計画）の策定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
280MHz デジタル同報無線の導入	①電波伝播調査の実施 ②庁内及び関係者との協議・調整	・整備方針決定 ・受信機普及方針の決定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
防災指導員の育成（フォローアップと地域へのフィードバック）	①防災指導員研修会後のフォローアップ実施 ②地域防災訓練への参加 ③全体会議を開催し意見交換等を実施	・防災指導員フォローアップ研修実施 ・地元等の地域防災訓練に防災指導員が1人以上参加 ・研修終了後の全体会議を1回以上開催	①及び②については達成方法どおり事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 ③については、3月に予定していたが、岡崎市新型コロナウイルス対策本部の方針を受け、実施を取り止めた。	計画どおり	

社会文化部の経営方針

■ 使命

- 質の高い芸術文化の鑑賞機会及び市民の芸術文化活動の場の提供を図ります。
- 様々なスポーツに触れることのできる機会を増やすとともに、良好なスポーツ環境を整えます。
- 男女共同参画社会の実現を目指し、男女がともに働きやすい職場環境づくりを推進します。
- 外国人市民の自立を促進するとともに、日本人市民の国際理解を深めます。
- 市民活動団体の自立を支援するほか、市民協働社会推進の担い手の育成に努めます。
- 図書館交流プラザりぶらを拠点として、生涯学習環境の整備と市民交流の場の提供に努めます。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
オカザえもんの国内芸術祭 2019 の開催	①事業内容の検討 ②委託先との連絡調整 ③パートナーシップ事業の実施 ④広報活動 ⑤ワークショップ、キュレーション実践講座、展覧会の開催	国内芸術祭(ワークショップ、キュレーション実践講座、展覧会)の開催	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
国際スポーツ大会等推進委員会の立ち上げ及び国際スポーツ大会等の誘致	①推進委員会の立ち上げ ②第1回及び第2回推進委員会を運営 ③モンゴルアーチェリーナショナルチームの強化キャンプを9月と2月に誘致及び実施 ④2020年WRCの誘致及び本年開催予定のテストイベントを誘致及び実施	・国際スポーツ大会等推進委員会を立ち上げ、推進委員会を2回開催 ・モンゴルアーチェリーナショナルチームの強化キャンプを2回開催 ・WRCテストイベントの誘致及び実施	①、②及び④については、達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 推進委員会 5回開催 ③について9月キャンプは予定どおり実施したが、新型コロナウイルスの影響で2月キャンプは相手方からの申し出により中止となった。	計画どおり	
テレワークの推進	①関係機関等との調整 ②受託業者との連絡・調整 ③周知方法の検討、広報手段の作成 ④参加者及び事業所募集・決定 ⑤女性活躍推進交付金対応事務 ⑥次年度以降の事業検討	女性と事業所のテレワークによる就労マッチングイベントの開催	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
プレスクールを始めとする外国人児童生徒に対する生活及び日本語学習の支援	①外国人児童生徒等支援ボランティア制度の周知 ②上記制度活用のため教育委員会との情報共有 ③プレスクール実施のための保育園等の在園児調査 ④プレスクール委託 NPO との事前調整と将来設計	プレスクールの実施(2・3月)	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

市民センターの運営の弾力化	①関係各課・各館との調整 ②内容を整理し(仮)市民センター条例案作成 ③パブリックコメントの実施 ④議案提出(12月議会)	令和2年4月1日条例施行	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
---------------	--	--------------	---------------------------------	-------	--

福祉部の経営方針

■ 使命

- 思いやりや支え合いの心を育て、安全で安心して、心豊かに暮らせるまちづくりを目指します。
- 障がい児・者の自立した生活支援、高齢者に対する介護予防活動事業の充実を図り、安心して生活できる社会基盤の整備に努めます。
- 複数の福祉課題や制度の狭間となる課題に対応できる総合的な相談支援体制の整備を進めます。
- 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険に係る保険料の適正賦課と収納率の向上に努めるとともに、医療・介護制度の見直しに適正な対応を図ります。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
福祉総合相談窓口に付与する機能の決定	①作業部会における窓口機能の検討 ②関係各課との協議調整 ③窓口求められる機能の調査 ④先行事例の研究 ⑤検討会議への諮問	福祉総合相談窓口に付与する機能(案)の作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
民生委員児童委員一斉改選に係る適正な事務の執行	①37地区民児協との連携 ②民生委員推薦会/社会福祉審議会民生委員審査専門分科会の開催 ③民生委員定数条例の一部改正 ④委嘱状/解職状伝達式の準備	委嘱及び解職の完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
福祉の村譲渡の円滑な遂行	①検討部会・検討委員会の開催 ②福祉部所管公共施設検討部会への諮問 ③庁内合意を得る	福祉の村譲渡に関する議案の議決承認	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
日中一時支援事業を利用する未就学児に対応した事務処理	①利用希望者への適切な利用相談 ②相談支援事業所との連携 ③サービス等利用計画書の受理 ④請求審査への対応	申請から受給者証の発行まで、概ね3週間かかっていたものを、平均2週間以内に達成	相談支援事業所や日中一時支援事業所と連携し、利用者のニーズとサービス提供の必要性を確認し、利用希望者への受給者証の発行は速やかに行われており、平均5.2日で発行することができた。	計画どおり	
指定管理期間更新に向けた準備及び各施設の今後の方向性の検討	①施設の設置目的の再検討 次期指定後の方向性の検討 ②募集要項等の書類作成 ③選定委員会設置要綱作成 ④募集方法の決定	将来の施設の方向性を検討したうえで次期指定の募集方法を決定し、関係書類等の準備完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
総合事業の推進 (短期集中型通所サービスの開始)	①短期集中型通所サービスの開始に向けた事業所の選定 ②委託契約の締結	10月1日からの短期集中型通所サービス開始	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
人材確保対策事業として、福祉就職フェアの開催	①事業所を交えた検討会の実施 ②準備(ポスター作製・会場確保等) ③広報(ポスター設置・市HP・市政だより・まちバス・学校等訪問) ④実施及び事業所を交えた事後検証	年2回介護・障がい合同の福祉就職フェアの開催	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 福祉就職フェア 2回開催	計画どおり	

<p>特定健康診査の実施とメタボリックシンドロームに着目した特定保健指導の適正な実施</p>	<p>①実施計画に基づく特定健康診査・特定保健指導の計画的な実施、委託先である岡崎市医師会との調整 ②健診の周知と未受診者対策、保健指導未利用者対策 ③年度中間期に事業遂行状況の確認と見直し ④保健師・管理栄養士による保健指導の評価</p>	<p>健診受診率(47.2%)以上の確保(県平均39.7%) 保健指導実施率(20.3%)以上の確保(県平均16.8%)</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、保健指導実施率は目標基準を上回ることができ、健診受診率は目標達成基準を満たすことができた。 健診受診率(見込※):45.9% 保健指導実施率(見込※):22.6% ※実績は4月中旬に確定予定</p>	<p>計画以上</p>	<p>集団健診受診者の保健指導対象者に電話による利用勧奨を行なった。</p>
<p>母子家庭等医療費受給者証の円滑な更新(今年度は、有効期間変更に伴う3か月延長分の受給者証の交付及び更新)</p>	<p>①有効期間3か月延長の医療費受給者証発送 ②更新申請書の発送等 ③広報による制度の周知 ④資格審査 ⑤受給者証の作成、発送</p>	<p>受給者証の発送完了(延長分及び更新分各3,000世帯)</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。</p>	<p>計画どおり</p>	

保健部(保健所)の経営方針

■ 使命

- 市民の健康と安心を支えるため、市民、医療機関、行政の三者の理解・協力により、地域医療提供体制の整備・充実を図ります。
- 市南部地域に誘致している民間の大学病院の建設支援をすることで、地域の救急医療課題の解決に資するよう関係機関等との協議を行い、西三河南部東医療圏の救急医療体制の整備・充実を図ります。
- 今後の岡崎墓園の整備・運営方法について、PFI手法による整備運営を推進するとともに、墓地需要の動向を踏まえた岡崎墓園の適正な管理運営を行います。
- 感染症、食中毒等公衆衛生上の危害の発生防止に努めるとともに、発生時の迅速な対応を強化し、市民の健康の保護を図ります。
- 薬物乱用防止を啓発することで、大麻、危険ドラッグや麻薬・覚せい剤の若年層への浸透防止を図ります。
- 「健やかで心豊かなまち おかざき」の実現に向けて、スマートウエルネスシティの考え方に基づく健康なまちづくりを推進し、生涯を通じて健康に過ごせるよう、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ります。
- 動物行政を総合的に推進し、人と動物が共生する快適な生活の確保を図ります。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
大規模災害時の医療体制確保	①大規模災害時の医療体制の見直し ②各種訓練の企画・参加 ③各種計画・マニュアルの作成・改訂	・医療救護所在り方検討部会の立上げ ・本部、医療救護所、後方支援病院の訓練の実施 ・医療救護所マニュアル改訂、岡崎市保健医療本部マニュアル作成	大規模災害に備えた医療救護所の見直しを検討するため、今年度関係機関を集めた作業部会を5回行い、素案の作成が完了した。医療救護所設置訓練及び医療圏本部の訓練などを行い、災害時の対応についての認識を高めた。また、今後の体制強化や各種計画作成のため、災害時医療コーディネーター研修、DHEAT研修などさまざまな研修に複数の職員が参加し、災害に対する意識向上に努めた。以上により、目標達成基準を満たすことができた。	計画通り	
岡崎墓園民間事業者の募集・選定の検討	①アドバイザー業務の受託事業者選定 ②アドバイザー業務の契約締結 ③事業者へのサウンディング実施 ④実施方針・要求水準等の確定 ⑤事業者選定委員会の設置・開催 ⑥入札参加者の決定	岡崎墓園民間事業者の募集・選定の適正実施	長期にわたる維持修繕計画や管理運営計画を検討した。	計画未滿	最適な事業範囲・事業手法が明確とならなかったため。
ウォーキングアプリ・マイレージ連携システムを開発し、本稼働に向けての周知の実施	①システムの開発 ②周知方法の検討 ③周知キャンペーンの実施	周知キャンペーンを3回以上実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 周知キャンペーン 3回実施	計画どおり	
動物行政推進計画の次期計画素案の作成	①現計画の施策の振り返り ②動物行政調整会議を開催 ③関係部署の検討結果取りまとめ	次期計画素案の作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

■ 令和元年度組織重点目標(所長)

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
HACCPに沿った衛生管理の制度化（令和2年6月までに施行）に伴う条例及び規則等改正を行い、食品衛生法改正に対する体制の構築	①近隣自治体の対応状況に関する情報収集 ②パブリックコメント実施（公衆衛生上必要な措置について条例で規定を定める場合） ③条例（12月議会または3月議会上程予定）及び規則等の改正 ④改正条例及び規則等の周知	条例及び規則等改正	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
成人男性を対象とした風しん抗体検査及び予防接種事業の周知徹底	①岡崎市医師会と実施体制を協議し、協力医療機関への説明資料を準備・配付 ②対象者へ風しん抗体検査及び予防接種のクーポン券と事業の案内文を個別通知 ③市政だよりやホームページへ記事の掲載及び、事業所へのチラシ配付により事業の周知を実施	市内の協力医療機関の登録を促進し、対象者への抗体検査及び予防接種クーポン券を早期に送付することにより、検査件数7,000件を目標に設定	達成方法どおりに事務を進めたが、検査件数は 4,500 件であった。	計画未滿	本事業は国の決定に基づき令和元年度から全国的に開始された事業であり、年度当初は新聞やテレビ等に取り上げられ、検査件数も一時伸びたが、その後月を経るごとに検査件数が減少した。企業への個別訪問等により更なる周知を図ったが、目標達成に至らなかった。
産婦健康診査及び産後ケア事業の実施による関係機関（庁内・庁外）との支援体制の構築	①庁内外関係機関との支援内容の協議 ②母子保健連絡協議会で意見聴取 ③支援マニュアルの作成	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援をするための支援マニュアルを作成し、庁内外の関係機関に周知	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
精神障害による措置入院者の退院後支援の推進	①県からの支援対象者通知を受け、県と退院後支援を行う手続きの協議の実施 ②支援計画の作成 ③対象者への計画説明と対象者の意向確認 ④支援会議の開催と支援計画の決定 ⑤支援計画の交付及び支援関係者への通知 ⑥支援計画に基づく支援の実施	措置入院者の地域移行支援希望者の全数に対応	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

こども部の経営方針

■ 使命

○子育て・子育ての関連施策を総合的に展開するため、岡崎市子ども・子育て支援事業計画「おかざきっ子 育ちプラン」により、子ども施策に関してこども部及び関係各課で子育て家庭の目線に立って一体的に取り組めます。
 ○多様な子育て支援、子どもの安全の確保、保育サービスの提供、児童健全育成など、地域社会全体で子育てをする仕組みづくりを、ソフト及びハードの両面から推進します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
おかざきっ子育ちプラン（岡崎市子ども・子育て支援事業計画）の次期計画の策定	①目標事業量・確保の方策の検討 ②庁内ヒアリングの実施 ③子ども・子育て会議の開催 ④パブリックコメントの実施	次期計画の策定・公表	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
放課後児童健全育成事業の基準条例に適合する(暫定期間後)運営方法の確立	①省令、条例、補助要綱等の解釈研究 ②育成室専用スペースの面積確保の解釈研究 ③児童数の実態把握 ④児童数の解釈研究 ⑤支援の単位の解釈研究 ⑥支援員の適正配置 ⑦他市町村の情報収集	基準条例及び補助要綱の規定に適合する運営解釈と方法により、暫定期間後における適正な運営の準備の完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
岡崎市子ども虐待等対応マニュアルの改正	①関係機関と協議し、通告及び情報提供ルールを決定 ②要対協関連機関と協議し、要対協ルール及び基準の詳細を決定 ③現行の岡崎市子ども虐待等対応マニュアルに①、②を盛り込んだ改正を実施 ④各機関へ改正後のマニュアルを配布	実務上の課題が改善された岡崎市子ども虐待等対応マニュアルを各機関へ配布	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
ひとり親家庭の自立に資する講習会の検討	①先進市の状況の把握 ②ニーズの把握 ③講習内容の検討 ④課題の洗い出し ⑤講習会開催に向けた方針の決定	講習会の開催に向けた方針の決定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
幼児教育・保育の無償化対象者の把握から給付に至る手順の構築（私立幼稚園給付費関連を含む。）	①利用サービスに応じた手順の検討 ②管理システムの改修 ③子育て支援施設等利用給付費の給付手順の検討	・幼児教育・保育の無償化事業の事務手続きを遅滞なく執行 ・改修後システムの検証完了 ・幼稚園、認可外保育施設等利用者への利用給付費の償還完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

<p>岡崎地区における新設保育園整備</p>	<p>①保育園建設・運営事業者公募 ②選定委員会設置 ③子ども・子育て会議への説明 ④設置認可に係る社会福祉審議会への諮問・答申</p>	<p>・保育園建設・運営事業者選定の完了 ・事業者による設計の完了 ・設置認可手続の事前協議を経て、社会福祉審議会への手続の完了</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。なお、社会福祉審議会への諮問・答申については、設置認可に係るスケジュールの見直しにより、令和3年度までに実施する。</p>	<p>計画どおり</p>	
<p>利用者支援事業基本型と母子保健型の連携強化、子育て世代包括支援センターの機能の充実</p>	<p>①共有メッセージの立ち上げ ②利用者支援事業関連書類の見直し ③「プレママ、プレパパ見学ツアー」の実施 ④「まちかどほっと相談室」の総合子育て支援センターでの実施</p>	<p>・利用者支援事業による相談件数の前年比5%増 ・関係機関等との連絡会を年間4回実施 ・「プレママ、プレパパ見学ツアー」を年間20回開催 ・「まちかどほっと相談室」を年間10回開催</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、利用者支援事業による相談件数の前年比15%増で目標達成基準以上に、その他は目標達成基準を満たすことができた。 「プレママ、プレパパ見学ツアー」 20回開催 「まちかどほっと相談室」 10回開催</p>	<p>計画以上</p>	<p>達成方法通りに対応を進め、利用者支援事業による相談件数が前年比15%増で目標達成基準以上の件数となった。</p>

環境部の経営方針

■ 使命

○良好な環境の保全及び創造に関する環境基本計画に基づき、総合的かつ計画的に環境施策及び環境活動を推進します。
 ○施策の実施にあたっては市民・事業者・市の三者が互いに連携し、協働して環境にやさしい循環型社会を形成します。
 ○ごみの減量、リサイクルの促進、二酸化炭素の発生抑制、健全な水循環の確保、自然の保護、環境教育の推進、廃棄物の処理の適正化、森林の公益的機能向上など、環境に関する様々な課題に対し明確で適切な目標を立て、啓発活動を進めます。
 ○自然資源との調和と活用に最大限の配慮をした、市民が安らぎとゆとりを実感でき、環境と共生し得る住み良いまちづくりを実現します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
森の駅事業の指定管理者制度移行の検討	①関係課との共通スケジュール作成 ②他自治体の取組調査 ③施設・プログラム面での課題洗い出し ④サウンディング ⑤指定管理の業務範囲の検討	指定管理者制度移行の是非判断	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
生活環境美化推進団体の設立支援	①区域内の地域活動団体等に制度を周知 ②美化推進団体の組成の調整 ③物品支給など設立後の活動支援 ④自主的活動の定着、自走化の支援 ⑤支援方法の仕組みの策定	生活環境美化推進団体の設立	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
産業廃棄物の適正処理のための電子マニフェストの全庁導入	①研修会への参加 ②情報政策課との調整 ③産業廃棄物排出課への周知 ④職員による操作方法の習得 ⑤システム活用環境の整備（契約等）	電子マニフェストシステムの試行実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
再生資源物の市況管理と適正処理	①市況の動向を把握 ②再生事業者及び他市における処理状況の把握 ③関係各課との連絡調整 ④市況の変化にも対応できる処理ルートの調査・検討	資源物の取引について、市況の状況に応じ、安定かつ適正に処理ができる施策を確立	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
し尿処理施設から八帖ごみ焼却施設への送水量を確立	①し尿処理施設からの送水量の把握 ②再利用水の使用量の把握 ③し尿処理の運転への影響確認	し尿処理施設からごみ焼却施設への中水の送水量を確立	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	
大気測定局適正配置計画（平成31年3月改正）の推進	①庄司田測定局の建設に係る調整（公園緑地課・建築課・地元等） ②局舎完成後、測定機器、クラウドシステムの設置・移設及び稼働状況の確認 ③矢作局移設に係る予算要求 ④北部地域局建設候補地選定に係る関係機関等との折衝	令和2年4月の庄司田局の大気汚染常時監視開始の準備が完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができました。	計画どおり	

経済振興部の経営方針

■ 使命

- 中小をはじめとする事業者の自主的な取組を支援するとともに、企業ニーズに応じた企業誘致策の推進に努めます。
- 産・学・民・官が連携して役割分担をし、経済の振興を図ることができる体制を整備します。
- 対象者を想定した各種の観光施策を展開し、観光資源の充実や市内外へ魅力をアピールし、おもてなしの施策を展開します。
- 農業後継者・担い手の確保育成を図るとともに、新規就農者への支援と経営意欲の向上を図ります。
- 産直施設や各種イベントにより農業への理解と交流を図ります。
- 有害鳥獣の捕獲や侵入防護柵の設置により、農林業被害の減少を図ります。
- 森林が持つ多面的機能が発揮できるように、林道等の整備や、森林整備対策の推進、人工林の間伐事業の推進を図ります。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
工業系産業誘致の検討	庁内関係部署との連携・調整	工業系産業立地に関する計画を策定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
オリジナル観光プロモーションの展開による公民連携での地域の稼ぐ力の向上	①業務委託契約 ②事業推進協議会にて審議等 ③委託事業者及び市内事業者との連携 ④個別プロジェクトの展開	観光土産品認証：5品	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 観光土産品認証 5品	計画どおり	
農業振興計画策定のための基礎調査の実施（産直施設等の行政が関与する妥当性の検証、民間譲渡の可能性検討）	①計画策定のためのロードマップ作成 ②委託業者選定方法の検討 ③実態把握のための調査 ④基礎調査報告書の作成 ⑤調査データの分析・資料作成	調査データに基づき、計画に対する意見聴取用資料（調査結果、計画の基本理念・将来像・施策体系等の骨子案）を作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
新規就農支援	①研修希望作目の選定 ②農業塾指導講師との綿密な打合せ、指導計画作成 ③研修スケジュール管理 ④就農に繋げるための情報提供	・栽培技術指導として農業塾を50回開講 ・塾生に農業活動や野菜出荷等に関する情報を提供	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 農業塾 50回開催	計画どおり	
林業6次産業化に向けた地域商社設立のための包括的な実現可能性調査の実施	①業務実施要領の作成 ②プロポーザルにて受託者選定 ③調査関係者との協議・調整 ④調査実施 ⑤とりまとめ	地域商社設立に関する1～3次産業事業者、地域インフラ資源、流通の実態調査が完了し、地域商社設立に向けた仮説の策定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

都市整備部の経営方針

■ 使命

〇居住、都市機能、産業を適切に誘導し、計画的な土地利用のもとで、市街地、都市計画道路、都市公園などの都市基盤の整備、民間施設の適正な配置・誘導を公民連携のもとで進め、市民が快適さや賑わい、都市の活力を実感できるような都市づくりを推進します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
都市計画マスタープランの全面改定	①策定委員会の開催 ②地域住民を対象とした意見交換会等の実施 ③都市計画審議会への報告	全体構想・地域別構想の素案作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
公民連携まちづくり基本計画（QURUWA 戦略）の推進	①関係プロジェクトの調整 ②乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議及び QURUWA 全体会議の開催 ③QURUWA プロジェクト関連部署に民間等を交えたタスクフォースの設置と運営 ④まちづくりデザイン会議への QURUWA プロジェクト事業者等の追加（要綱変更） ⑤ワークショップの開催 ⑥シンポジウムの開催	・ QURUWA エリアでの新規民間事業者の参入を 2 件誘導 ・ 公共空間における民間事業活動日数を年間 60 日実現	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 新規民間事業者参入誘導 5 件 民間事業活動日数 256 日	計画どおり	
屋外広告物条例の改正	①条例の改正素案の作成 ②景観審議会の意見聴取 ③パブリックコメントの実施 ④議会へ上程 ⑤ホームページ等による周知	条例の改正及び周知	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
東岡崎駅交通広場の整備推進及び駅ビル再開発計画の促進	鉄道事業者と ①整備計画検討、費用負担等協議 ②整備計画工程の調整 ③都市計画の決定・変更案等の検討 庁内で ・ 駅に設置する市施設の検討・調整	鉄道事業者と第 2 期整備計画の合意	法定再開発事業の採択を前提に整備計画の立案を鉄道事業者と共に検討を進めている。また、南北自由通路や駅舎については概算事業費等が示され費用負担等の協議を継続している。	評価不能	鉄道事業者とは、法定再開発事業の採択を目指すことについて合意して進めているが、用地の整理や事業スキームについての関係機関協議に時間を要しており、整備計画の立案までは至っていない。
殿橋テラスの常設化	①河川管理者との協議 ②殿橋テラスの常設化に向けた協議資料作成 ③乙川かわまちづくりマネジメント検討	殿橋テラスの常設化に向けた協議の完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
本宿地区土地区画整理事業の区域決定	①庁内関係機関との協議・調整 ②愛知県との協議	土地区画整理区域の原案作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
民間活力導入を前提とした基本計画案を策定し、南公園の魅力アップとコスト縮減の実現	①H30 年度業務委託成果を元に関係部署と調整 ②業務委託の発注 ③民間企業ヒアリング ④基本計画案の策定	基本計画案作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

土木建設部の経営方針

■ 使命

○道路事業では、道路・橋りょうの積極的かつ計画的な整備を進めます。また、自然災害を意識し、効率的・効果的な維持管理を行い、常に安全かつ円滑な通行が確保されるよう努めます。
 ○河川事業では、平成 20 年 8 月末豪雨を教訓に、都市部の浸水常襲地区を対象とし、床上浸水を発生させない総合雨水対策を進めます。また、同時に、国県市の関係機関と連携し、未改修河川などの早期整備に努め、災害に強いまちづくりを推進します。
 ○土地改良事業では、積極的な農業基盤施設の整備に努め良好な営農環境を確保します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
自然災害発生時の円滑な初動体制の確保	①訓練内容の整理 ②岡崎土木災害安全協力会及び防災課等関係部署との調整 ③訓練の計画書作成 ④訓練の実施（9月まで） ⑤実施での課題洗い出し、必要な再訓練の実施（11月まで） ⑥課題の整理	岡崎土木災害安全協力会の出動を想定した情報伝達訓練等の実施と実施結果及び検討課題に関する報告書作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
都市計画道路整備に伴う用地買収の進捗	①道路建設課との調整 ②物件調査の実施 ③買収計画の立案 ④地権者との交渉 ⑤用地及び移転補償契約	若松線：第2工区（岡崎幸田線～岡崎碧南線間） 用地取得率48%を達成	達成方法どおりに事務を進め、今年度取得予定の土地については買収完了。 来年度以降取得予定の地権者からも交渉により取得し、用地取得率54%を達成。	計画以上	積極的な交渉や地権者の早期買収希望により、令和2年度以降の買収予定者との契約に至り、目標達成基準を上回るすることができた。
地方創生道整備推進交付金を活用した既存歩道のバリアフリー化	①地元調整 ②関係課との協議・調整 ③占用物件の調査・調整 ④国庫補助の交付申請、概算・本要望 ⑤工事の発注 ⑥工事の施工管理	4路線の今年度工事区間の工事完成 南部9号線、南部11号線、上地柱線、若松3号線	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
吹矢橋耐震業務の推進	①工事に必要な関係機関協議（県河川）（5月までに予定） ②工事内容に合わせた工事発注（6月予定） ③濁水期に限定される工事内容が支障無く着手が可能な工程の調整	吹矢橋の耐震対策及び修繕対策の完了（平成28年度～今年度整備）	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
上地新川改修事業の確実な推進	①過年度整備区間も含めた事業調整 ②地元・関係機関との協議、調整 ③工事発注 ④工事の施工管理	河道整備率100%を達成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 河道整備率100%達成。	計画どおり	
ため池耐震対策の工事を実施	①設計図書の作成 ②工事発注（8月発注予定） ③関係機関との調整 ④工事の施工管理	耐震対策工事の完了（若松地区 西三田ヶ入池 平成30年度～今年度整備）	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

建築部の経営方針

■ 使命

○適正な基準と手続により、厳正な審査・検査を行い、安全で快適な建築や秩序ある開発行為を推進します。
 ○周辺環境との調和に配慮し、安全で安心でき、使いやすくわかりやすい機能的な施設づくりを推進します。
 ○市有建築物の安全性の確保、機能維持及び長寿命化のための計画的な改修を進めるため、短期保全計画及び公共建築物整備事業計画を策定します。
 ○快適で安心して生活できるよう、質の高い住宅を供給するため、住宅管理の充実及び建替事業や住宅の改善に取り組みます。また、住宅確保要配慮者に対する住宅施策の推進を図ります。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
せきれいホール改修工事の円滑な遂行	①事業課との協働 ②発注計画及び進捗の管理	事業の今年度分の達成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
総合学習センターホール棟改築等整備工事の円滑な遂行	①事業課との協働 ②発注計画及び進捗の管理	事業の今年度分の達成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
エネルギー使用量が増加した市有建築物の調査及び助言支援	①対象施設の選定 ②調査表による事前調査 ③現地確認及び聞き取り調査 ④原因究明と改善(案)作成 ⑤改善(案)の提案	10施設以上の支援実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 支援実施施設数 10施設	計画どおり	
公共建築物整備事業計画の策定	①保全システムから優先順位の確認及び計画案の作成 ②現場確認及び計画案の修正 ③対象部署との調整・連携 ④庁内合意を図る	令和2年度公共建築物整備事業費案の決定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
住宅セーフティネット法に基づく賃貸住宅供給促進計画の策定及び協議会の設立	①パブリックコメントの実施 ②計画策定委員会の意見聴取 ③県との協議、県・市協議会への意見聴取 ④関係支援団体との調整 ⑤計画と併せた運営方針の調整	賃貸住宅供給促進計画の策定 居住支援協議会の設立及び制度の周知	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
(仮称)五本松住宅事業の円滑な遂行	①工事の発注・着手 ②関係各課との協働 ③周辺住民・入居者との調整	新築工事の着工及び今年度分の達成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
狭あい道路拡幅整備事業の啓発	①広報・啓発番組の作成 ②広報・啓発方法の検討	番組を活用した広報・啓発活動の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

市民病院事務局の経営方針

■ 使命

- 地域医療支援病院及び急性期病院としての役割を推進するため、医療の質向上を図るとともに地域の医療機関との連携強化を図ります。
- がん診療連携拠点病院として、当医療圏におけるがん診療の中心的役割を担い、がん医療の質向上を図ります。
- 市民病院と愛知病院との機能再編により、市民が安心して診療を受けられる体制を構築します。
- 医療の安全性及び質向上のため、医療スタッフの研修の充実及び医療情報システムの最適化を推進します。
- 退院支援、認知症疾患医療センターの運営など、地域の医療・保健・福祉と連携した効率的な医療を推進します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
岡崎市民病院と岡崎市立愛知病院との機能分化及び診療連携の推進	①がん診療の市民病院への集約(一部除く) ②市民病院から愛知病院への軽度急性期患者の転院 ③病院改革プランの実行	機能移行スケジュールの実施 愛知病院での軽度急性患者の入院診療の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
がん診療の充実、愛知病院機能移管による施設改修設計・工事の実施	①院内関係部署との協議 ②設計・工事発注 ③患者及び医療従事者への周知及び対応 ④設計業務管理・工事工程管理 ⑤県との協議・調整	結核患者用病床整備の基本設計・実施設計の完了 PET-CT 導入のための放射線診療区画の改修工事の完了 外来診察室拡張工事の完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
統合情報システムの更新	①システム構成の最終決定 ②契約の締結 ③更新に向けた打合せの実施、準備 ④更新作業の指示、現場との調整、作業後の確認 ⑤新統合情報システム運用開始	電子カルテを中心とした統合情報システムを支障なく更新	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
かかりつけ医との医療連携推進	①かかりつけ医との連携を取り、前方連携の充実を図る ②かかりつけ医への訪問を実施	かかりつけ医への訪問件数 100 件	達成方法どおりに事務を進め、かかりつけ医への訪問件数は 109 件であった。	計画以上	かかりつけ医との更なる連携充実に向け、積極的にかかりつけ医を訪問した。

消防本部の経営方針

■ 使命

- 消防職員の資質向上と消防車両をはじめとする消防施設の整備を図るとともに、部隊の効果的な運用を行います。
- 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律に基づき、消防団員の処遇、装備、教育訓練の改善を図り、消防団の充実強化を推進します。
- 防災講習会の拡充を図るとともに、予防査察を強化し、適正な防火管理を指導します。
- 救急隊員教育、高度救命処置用資機材の整備により救急業務を高度化し、医療機関との円滑な連携体制の構築に努め、救命率向上を目指します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
消防署所勤務者の服務及び手当支給等の事務の効率化	①消防署所勤務者を対象としたシステムの構築 ②構築したシステムで仮運用を行い問題点の洗い出し	構築したシステムでの本運用	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
全ての飲食店に対する消火器義務化の周知徹底	①ちらしを作成し、全ての飲食店へ配布 ②全ての飲食店に立入検査を実施 ③飲食業組合団体への説明会を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ちらしを作成し、全ての飲食店へ配布 ・9月末までに全ての飲食店に立入検査を実施 ・飲食業組合団体への説明会を年6回以上実施 	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 飲食業組合団体への説明会 10回開催	計画どおり	
救急車の適正利用の推進	①SNSによる広報 ②不適切利用者への訪問 ③指導医師の連携 ④他行政機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・フォロワー数の確保 ・継続的な記事投稿 ・不適切利用の減少 ・常習者リストの策定 	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
音声以外の119番通報手段の充実 (NET119緊急通報システムの整備及び事前登録事務)	①事業者と契約しNET119緊急通報システムを9月末までに構築 ②事前登録者の募集を行い説明会を実施 ③取り扱い訓練を実施し、操作方法を習得 ④登録者を適切に管理	NET119緊急通報システムを運用	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
音声以外の119番通報手段の充実 (119番通報における映像の利用)	①映像による119番通報システムの構築 ②通報時の映像配信に関する市民への周知 ③取り扱い訓練を実施し、操作方法を習得 ④映像情報運用規定の作成	119番通報において映像を利用し、災害状況の早期把握	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
高度救助隊員としての知識・技術の向上	①救助隊員の教養及び訓練の実施計画作成 ②定期的な教養及び訓練の実施	高度救助隊として高度な知識・技術の習得	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

サイクル化を見据えた査察業務	査察計画管理表に従い、査察を実施	年度内に第2種査察対象物414棟の査察を実施 (東署管内：特定212棟、非特定202棟)	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 査察実施棟数 414棟	計画どおり	
警防規定策定に伴う署隊本部運用マニュアルの作成	①作成に係る年間計画の作成及び担当者の任命 ②署隊本部設置時における問題点等の精査	署隊本部運用マニュアルの完成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

上下水道局の経営方針

■ 使 命

- 水道ビジョンで定めた目標実現に向けて、諸施策を実施します。
- 下水道事業の経営戦略に基づき、健全な事業運営に努めます。
- 水道事業及び下水道事業審議会を通じて、透明性の高い企業経営を維持します。
- 水道事業は、老朽管対策及び管路の耐震化を推進すると共に、施設の更新と効率的な維持管理により、安全安心な水道水の安定供給に取り組みます。
- 下水道事業は、雨水事業による浸水対策と汚水事業を計画的に進めるとともに、老朽化した下水管の長寿命化を推進し施設機能の強化と維持管理の向上に努めます。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
経営の効率化 (システムの仮想サーバー集約化)	①システム所管課との調整 ②情報政策課との連携、調整 ③対象システムの確定	サーバー集約化計画の策定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。加えて、クラウド化という別の方法についても検討し、計画に組み込むことができた。	計画以上	サーバー集約化を進める中で、クラウド化についても検討し、2つのシステムで導入予定となった。また、近隣自治体でも同じシステムを利用しており、更新時期も近かったことから、クラウド化による同時調達を提案した。まだ調整中ではあるが、実現すればさらなるコスト削減が期待できる。
合理的な事業運営に向けた検針業務の効率化	①スマートフォン検針導入の検討 ②他市の実態調査 ③メリット・デメリットの整理 ④情報セキュリティ対策基準の確認 ⑤費用対効果の検証 ⑥導入検討書の作成	スマートフォン検針導入検討書の作成	9月に導入検討書が完成したことで10月から開始した営業業務包括外部委託のプロポーザル提案にスマートフォン検針を盛り込ませることができた。	計画以上	大幅に目標達成の時期が早まったことで、自信を持った業務仕様書の作成が可能となり、プロポーザル参加者からは充実した検針業務の提案を受けることができた。
給水区域の適正化による水道事業の合理化	①まちづくり関連部局との協議 ②関係省庁との協議 ③給水区域縮小(案)の作成 ④パブリックコメントの実施 ⑤条例改正 ⑥区域変更申請書の作成 ⑦厚生労働省へ変更認可申請	給水区域適正化(縮小)の変更認可取得	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
浄水場運転管理業務の見直しによる合理化と緊急時対応力強化の検討	①現状の把握(直営業務と委託業務) ②廃棄・委託化業務の洗い出し ③直営化が必要とされる業務の洗い出し ④各業務の再編・組合せの検討 ⑤従前業務との比較検証	運転管理業務の合理化と緊急体制の見直し	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
第1次緊急輸送路(国道1号)に埋設された下水道管渠の地震対策の推進	①対象となる施設の抽出、総量把握 ②整備方針(優先順位・対策案)の検討 ③概算事業費算定及び年次スケジュールの作成 ④道路(国道1号)管理者との協議	緊急輸送路(国道1号)における下水道管渠地震対策(案)の作成	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

<p>下水道事業経営の効率化 (不採算事業である農業集落排水事業の施設の統合・公共下水道接続等によるスムーズな企業会計化を目指す)</p>	<p>①農集施設の資産調査 ②ライフサイクルコストの把握 ③収支分析及び予測 ④施設統合・公共下水道接続の案の作成 ⑤局内調整(方向性の決定)</p>	<p>農業集落排水施設の統合・公共下水道接続を決定し、事業の企業会計化へ向けた方針案の作成</p>	<p>達成方法に沿った施設統合・公共下水道接続の案を上半期でまとめ、加えて別の方法による効率化の案についても取りまとめた。</p>	<p>計画以上</p>	<p>今後の下水道事業経営の効率化を検討するための方針を決めていく基礎資料として、目標を上回る取りまとめが早期に完了したため。</p>
--	---	---	---	-------------	---

会計管理者の経営方針

■ 使命

○公金の安全性の確保と適正な収支の実現を第一義として、より効率的かつ公正な会計事務を行います。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
適正な会計事務（課内）の推進	①書類を的確に審査し、かつ、遅延や紛失のないように書類管理を実施 ②ネットバンキングによる支払設定と財務会計システムの支払集計等の照合を複数担当者により確実に実施 ③毎週火曜日（審査閉め日）に請求日と書類作成日をチェックし、支払遅延書類を管理 ④問題発生時は速やかに担当課・指定金融機関と連絡調整をし最善策を処置	・支払遅延防止法違反書類0件 ・収入額の消込作業未処理0件 ・振込事故に対して速やかな対応実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。 支払遅延防止法違反書類 0件 収入額の消込作業未処理 0件	計画どおり	
適正な会計事務（庁内）の推進	①これまでに間違いが多かった点について、重点を置き審査 * 審査業務内容に即した契約かどうか * 債務確定（履行確認・完了検査）書類は適正であるか ②会計事務ハンドブックの改訂（年1回） ③ファイル管理に掲載してある各種マニュアルの見直し	会計事務ハンドブックの改訂及び各種マニュアルの充実	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
安全で効率的な資金運用	①支払余裕金の把握のため、正確に収入支出見込額を報告するように各課等への注意喚起 ②金融機関の経営状況を定期的に確認 ③金融商品、金利状況等の情報収集 ④例年の資金動向をベースに、月次見込みから算出した支払余裕金の運用計画の策定 ⑤公金保管・運用基準に従い、運用を実施 ⑥運用に関する情報を共有し、スキルの底上げ	安全性及び流動性を確保し、計画以上の運用益の確保	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
現金取扱事務の適正化の推進	①現金等取扱マニュアルの整備、運用の注意喚起 ②各課等から提出される現金出納報告書を定期的に確認 ③各課等の現金等取扱事務の状況の把握 ④必要に応じて実地検査を実施	各課等による適正な現金の取り扱い及び管理の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

課員の会計事務の知識力・指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ①各課からの相談や質問に対するアドバイスが的確に行えるよう、自主学習を随時実施 ②検証環境を活用し、財務会計システムの処理手順を習得 ③複雑な問題については、課内協議により適切な解決策を見出す 	的確な解決策を見出し事例集に記録	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
--------------------	--	------------------	---------------------------------	-------	--

議会事務局の経営方針

■ 使命

○市民から負託を受けた議員がその職責を十分に発揮できるよう支援するとともに、市民に開かれた分かりやすい市議会とします。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
政務活動費の執行支援	①政務活動費の交付 ②議員への正確な政務活動費に関する情報提供と執行支援 ③政務活動視察の支援	・政務活動費の交付 ・政務活動の手引き 改正案の作成 ・政務活動視察の円滑な実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
議会事務局と議員間の情報管理・共有方法の検討	①議員の作業部会実施を支援 ②関係部署等との調整 ③作業スケジュール・予算の検討	新たな情報管理・共有方法の具体的な計画及びガイドラインの策定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
議会運営事務の効率化	①先例・事例の整備 ②条例・規則・要綱の整備 ③委員会報告書、シナリオの様式の統一化及び見直し	・議会提要の先例・事例を追加、修正、整理 ・委員会報告書、シナリオの様式の統一化及び見直し	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
傍聴機会の充実	①議会大会議室へのカメラ設置 ②放送・編集方法の検討	委員会のインターネット録画放送の試行実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

教育委員会事務局の経営方針

■ 使命

○すぐれた教育環境の下で児童・生徒が教育を受けられ、教員が安全で効果的に教育活動を進められるよう、施設・設備の充実と大規模整備等、より良い教育環境を作るための整備推進を図ります。
 ○児童・生徒の食育推進に向けた事業を実施するとともに、安全で美味しい給食を安心して食べられるよう、施設・設備・体制の整備を推進します。
 ○歴史・文化資産を活かした都市づくりの中で、文化財等の保存・活用を推進します。
 ○求められる新たな教育環境の整備・充実に努めます。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
新学校給食センターにおける重要課題整理と整備促進	①新西部建設候補地の取得協議 ②基本計画策定に向けた施設整備(ハード面)の方針決定 ③有識者や栄養教諭等とともに昨年度調査業務で洗い出した課題(ソフト面)の方針決定	・新西部学校給食センター建設用地の選定 ・ハード・ソフト両面の課題解決による美味しく安全・安心な学校給食の提供	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
ICT環境の総合的な整備拡充とセキュリティの強化及び活用推進策の実施	①学校における実態やニーズの把握 ②活用イメージの明確化と方針の策定 ③整備後の活用状況の調査と評価書の作成 ④RFI、RFPの実施と評価 ⑤情報セキュリティ面の検討 ⑥情報政策課との協議及び調整	・タブレット端末及び常設無線LANの整備完了 ・次期センターサーバのセキュリティ強化策及び全体設計の完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
全小中学校の普通教室等への空調設備整備	①事業者との調整 ②小中学校との情報共有及び調整 ③運用マニュアル作成 ④維持管理モニタリング実施計画書作成 ⑤検査及び所有権移転 ⑥交付金事務	円滑な空調設備の設置及び運用の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
竜谷小学校大規模改修事業(モデル校)の検証	①工事金額の精査 ②モデル事業関係者の意見聴取 ③工事内容の精査 ④工期の精査 ⑤交付金採択条件の整理 ⑥検証結果のまとめ	今後の大規模改修工事の方針及び仕様決定	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
岡崎城跡の資産価値を高めるため、「岡崎城跡整備基本計画―平成28年度改訂版―」に基づき、事業を推進	①有識者による整備委員会の開催 ②発掘調査及び現地見学会の実施 ③石垣の測量・変位計測の実施 ④金箔瓦復元品の製作 ⑤菅生川端石垣整備による県との協議・調整	・発掘調査及び石垣の測量・変位計測の完了 ・菅生川端石垣整備による園路整備及び樹木の伐採、昭和期の石積みの撤去完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

文化財保存活用地域 計画の策定に向け、 協議会を設置し、計 画内容を検討	①委託業務の仕様書作成 ②業者選定（プロポーザル方式） ③契約締結 ④協議会条例の制定 ⑤協議会を開催し、計画内容を検討	市民アンケートを実 施し、現状と課題の整 理完了	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準 を満たすことができた。	計画どおり	
---	--	--------------------------------	-------------------------------------	-------	--

教育委員会事務局(教育監)の経営方針

■ 使命

○学校教育の充実を図るため、教員の指導力向上、スポーツ・文化活動の促進、教育研究の推進や学校生活に関わる諸問題の解消などを進めるために「指導の重点事項」として「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」を育む教育を推進します。

○学校における保健・安全管理を図り、児童・生徒及び教職員の健康保持に努め、学校教育の円滑な実施を確保します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
新学習指導要領実施に向けた研究 子供の心に寄り添った教育の推進 教育事業の充実	①特別委員会や指導員会等での新学習指導要領の研究と指導、小学校英語の充実 ②「学級集団適応心理検査（小学校高学年・中学校）」の実施 ③「三大陸国際理解教育推進事業」、「スーパーサイエンススクール推進事業」の実施等 ④ICT教育の充実と「岡崎市プログラミング学習」の実施	・特別委員会による年間指導計画の見直し ・指導員訪問による新学習指導要領を意識した授業改善への指導 ・増員された小学校英語補助者の有効活用 ・学級集団適応心理検査の結果の分析と活用による子供理解の充実と指導の向上 ・社会（地域・世界）との結びつきや連携を意識した学校経営の指導、支援	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
特別支援教育 いじめ・不登校対策の充実 教育相談の充実 外国人児童生徒支援の充実	①特別支援教育に関する研修の実施 ②教育相談の充実と現場支援の充実 ③関係諸機関との連携強化 ④「ハートピア竜美」と「ハートピア上地」の連携、学校内外での不登校児童生徒への支援体制の充実 ⑤日本語初期指導教室「プレクラス」の開設、運営	・特別な支援を要する児童生徒への指導の充実 ・スクールソーシャルワーカーの活用による問題解決及び事例の積み上げ ・「そよかぜ相談室」における相談活動の積み上げ ・ハートピアに通所する児童生徒の学校復帰（進路決定への支援） ・特別支援教育連携協議会、いじめ問題対策連絡協議会、不登校対策協議会等の実施。 ・日本語初期指導教室「プレクラス」の適切な運用	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

<p>教職員の指導性・専門性・人間性の向上 教員の働き方の検討、改善策等の提案</p>	<p>①各種研修の開催・運営 ②教育アドバイザー等、経験豊かな講師の活用 ③教育研修論文の実施 ④特別委員会「教職員の働き方研究委員会」「学校教育活動研究委員会」の設置</p>	<p>・教職経験年数に応じた研修の開催 ・コンプライアンス意識を向上させる講義等、時代の要請に応じた内容の研修 ・教育研究論文の募集と顕彰 ・特別委員会の適切な運営、改善策等の策定</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。</p>	<p>計画どおり</p>	
<p>総合学習センター改修の進捗管理と条例の改正</p>	<p>①ホール解体工事ほか関連業務の契約及び執行管理 ②多目的ホール新築工事契約議案の提出 ③多目的ホールの利用方法、類似施設との料金体系の比較分析 ④条例案作成及び条例議案の提出</p>	<p>・解体等工事の完了 ・施設整備に係る来年度当初予算の確保 ・議会議案の議決（総合学習センター新築工事契約及び総合学習センター条例改正）</p>	<p>達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。</p>	<p>計画どおり</p>	

監査委員事務局の経営方針

■ 使 命

○地方自治法を始めとした関係法令等の規定に基づき、独立した執行機関である監査委員が実施する監査等を、公正不偏の態度を保持して適正に補助します。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
例月出納検査	地方自治法を始めとした関係法令等に準拠して例月出納検査を実施	例月の各会計現金出納検査の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
定例監査・行政監査	地方自治法を始めとした関係法令等に準拠して定例監査・行政監査を実施	6部局、17小中学校、10保育園の監査の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
随時監査	地方自治法を始めとした関係法令等に準拠して随時監査を実施	今年度監査対象部局の実施する工事から抽出した工事の監査の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
財政援助団体等監査	地方自治法を始めとした関係法令等に準拠して財政援助団体等監査を実施	財政援助団体1団体の監査の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
決算審査	地方自治法を始めとした関係法令等に準拠して決算審査を実施	平成30年度一般・特別会計、病院・水道・下水道事業会計の決算審査の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
基金運用状況審査	地方自治法を始めとした関係法令等に準拠して基金運用状況審査を実施	平成30年度基金運用状況の審査の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
健全化判断比率等審査	地方公共団体の財政の健全化に関する法律を始めとした関係法令等に準拠して健全化判断比率等審査を実施	健全化判断比率等の審査の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
監査基準の策定・公表	地方自治法の改正を受けて総務省が示した指針に基づき監査基準の策定・公表を実施	監査基準の策定・公表の実施	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	

農業委員会事務局の経営方針

■ 使命

- 荒廃農地や違反転用を解消し、優良農地を確保・保全します。
- 各職員の知識の向上と、課内における判断基準の統一を図ります。
- 農業委員会の所掌事務を適正に行います。

■ 令和元年度組織重点目標

目標項目	達成方法	目標達成基準	目標達成状況及び実施内容	評価	計画以上、計画未滿、評価不能の理由
タブレット端末を利用した農地台帳の適正な管理	①業務委託契約 ②課題等の把握 ③農業委員会委員への操作説明 ④情報セキュリティ対策 ⑤試験運用	タブレット端末を利用し、農地の現況調査を行い、農地情報公開システムへ反映調整	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	
耕作放棄地の解消	①農業委員会委員と協議し、非農地の調査実施地区を選定 ②非農地と判断されたものについて非農地通知を送付	現況が原野、山林と判断された農地所有者に非農地通知を送付し、当該農地の地目変更登記を啓発	達成方法どおりに事務を進め、目標達成基準を満たすことができた。	計画どおり	